

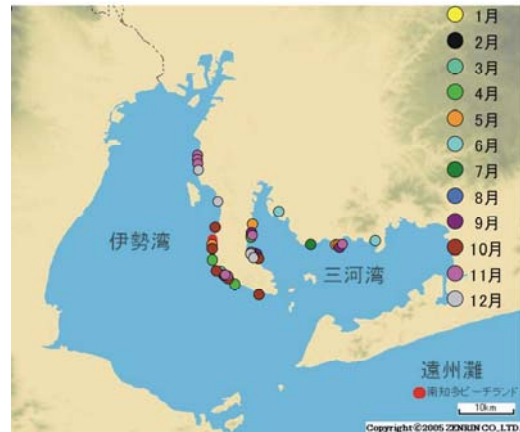
2011年に漂着した海棲哺乳類について

南知多ビーチランドが、2011年1月から12月までに取り扱った海生哺乳類は合計35例で、全てスナメリでした。全て海岸に漂着しており、死亡していました。全35例のうち伊勢湾18例、三河湾16例、河川（矢作川河口）1例でした。2011年は、渥美半島での取り扱いはありませんでした（図1）。

性別では雄21例、雌9例、不明が5例でした。月別では3月が1例、4月が3例、5月が4例、6月、7月が2例と減少しましたが、9月が3例、10月7例、11月に9例と最大となり、12月は4例でした。9月以降の漂着数が多かったのは、1980年からの調査以来初めてとなりました（図2）。秋以降、漂着数が多くなった原因は不明です。また、ほとんどの個体は腐敗が著しく死亡原因を特定することはできませんでした。体長測定をしました。最大は190cm（オス）、最小は80cm（オス）でした。

5月6日に、西尾市吉良町の海岸に打ち上げられたスナメリは170cmのメスで、西尾市役所から連絡がありました（写真1と2）。残念ながら、当園からは調査に向くことができませんでしたが、写真を見ると生殖孔から小さな尾びれが出ていました。分娩中のスナメリでした。分娩異常があったのか、なんらかのトラブルに巻き込まれたのかはわかりません。当園でのスナメリのストラレンジング調査は、1980年以來457例で、そのうち妊娠中のスナメリは12例（26.7%）ありましたが、分娩中のスナメリは初めてでした。非常に稀な事例でしたが、あらためてスナメリの出産時期がこの時期であることも裏付けられました。

〔図-1〕 月別死亡漂着箇所



〔図-2〕



〔写真-1〕



〔写真-2〕



このように死亡漂着したスナメリからは、生物学的な情報を得ることができます。もし、海岸や港で死亡したスナメリなどを発見した場合は是非ご連絡下さい。(大池辰也)